

血液透析患者に対する心臓カテーテル検査、治療時における遠位橈骨動脈ア

プローチの有用性の検討

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2017年9月～2020年4月までに当院で遠位橈骨動脈(Distal radial artery: DRA)アプローチを用いて心臓カテーテル検査、治療を行った血液透析患者さま

2. 研究目的・方法

透析患者さまに対して DRA より心臓カテーテル検査、治療を行うことにより、通常の橈骨動脈アプローチで問題となる橈骨動脈の発生率を減少させつつ、従来透析患者に使用していた大腿動脈アプローチに比べ出血性合併症の発生率を軽減させる可能性があります。DRA アプローチの有用性を調査する研究です。

実施期間は施設院長承認後 ～ 2021年3月です。

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

- ①患者背景（年齢、性別、体重）②DRA、CRA の血管径 ③手技後 24 時間以内の CRA 閉塞発現の有無
- ④手技後 24 時間以内の血管合併症の有無

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究責任者：宍戸晃基

連絡先：医療法人沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院 循環器科 横田翔平

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 TEL：0467-46-1717（病院代表）

（2020年4月21日作成（第1版））